

# 関西哲学会第72回大会プログラム

日時 2019年10月19日(土)、20日(日)  
場所 同志社大学 今出川キャンパス 良心館  
303教室(A会場) 305教室(B会場)

第1日目: 2019年10月19日(土)

## 個人研究発表

1 10:00-10:45

A ディルタイにおける形而上学の問題

入江祐加(山陽学園短期大学)

司会 竹島あゆみ(岡山大学)

B ラッセルの空間論

磯島浩貴(大阪大学)

司会 中山康雄(大阪大学)

2 10:50-11:35

A フッサールとブレンターノ —— 志向・明証・反省

梶尾悠史(奈良教育大学)

司会 松田 毅(神戸大学)

B 共感と政治 —— 共感概念が政治哲学に与える影響について

鬼頭葉子(長野工業高等専門学校)

司会 石崎嘉彦(大和大学)

3 11:40-12:25

A 『イデーシオン I』における空想と『経験と判断』における空想

田中 俊(京都大学)

司会 日下部吉信(立命館大学)

B ケアの倫理とエンパシー

—— スロートの「ケアリングに根差したエンパシー」をめぐって

安井絢子(京都大学)

司会 品川哲彦(関西大学)

委員会 12:30-13:30 (311教室)

## 個人研究発表

4 13:35-14:20

A フッサールの時間意識理論における延長主義的契機

西村正秀（滋賀大学）

司会 富田恭彦（京都大学）

B チャールズ・テイラーにおける「道徳的源泉」

——ジョン・マクダウェルへのコメントを手掛かりに

高橋侑生（京都大学）

司会 中畑正志（京都大学）

5 14:25-15:10

A 初期フッサール時間論における時間位置の個体化について

柳川耕平（立命館大学）

司会 吉永和加（岐阜聖徳学園大学）

B 鶴見俊輔の解釈実践は、なぜ彼の読書理論を裏切ったのか

——学びほども、多元的自己、実存的読解

谷川嘉浩（京都大学）

司会 安部 浩（京都大学）

共同討議 15:15-17:45（A会場）

「「デモクラシー」を論じる ——プラトン『国家』の解釈をめぐって」

内山勝利（京都大学）

坂井礼文（神戸大学）

司会 松田 毅（神戸大学）

懇親会 18:00-20:00（室町キャンパス 寒梅館7階 french restaurant will）

第2日目：2019年10月20日（日）

## 個人研究発表

1 10:00-10:45

A ハイデガーの「存在の問い」におけるテンポラリテート論の意義

貫井 隆（京都大学）

司会 須藤訓任（大阪大学）

B トマス・リードと常識の可謬主義

——発見と先入見の区別をめぐる問題

中元 洸太（京都大学）

司会 伊藤邦武（龍谷大学）

2 10:50-11:35

A 『自然神学』におけるヴォルフのスピノザ批判

手代木陽（神戸市立工業高等専門学校）

司会 松田克進（龍谷大学）

B 裁判上の事実と真偽

早瀬勝明（甲南大学）

司会 丸山徳次（龍谷大学）

3 11:40-12:25

A カントの論理学思想における確実性の問題

福田喜一郎（鎌倉女子大学）

司会 入江幸男（大阪大学）

B ベルクソン『物質と記憶』における「官能の教育」と感情的感覚について

藤田英隆（法政大学）

司会 加國尚志（立命館大学）

編集委員会 12:30-14:00（311 教室）

個人研究発表

4 14:05-14:50

A 生の諸瞬間の哲学 ——ジャンケレヴィッチとレヴィナス

田中優一（同志社大学）

司会 佐藤義之（京都大学）

総会 14:55-15:25（A 会場）

ワークショップ 15:30-17:30（A 会場）

「いま日本で哲学するということ」

末木文美士（国際日本文化研究センター）

岡田勝明（姫路独協大学）

安部 浩（京都大学）

司会 井上克人（関西大学）